

| | | | | |
|-------------|---------|----------------|---------|------------|
| 和歌山工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和05年度(2023年度) | 授業科目 | マイクロコンピュータ |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0032 | 科目区分 | 専門 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | |
| 開設学科 | 電気情報工学科 | 対象学年 | 2 | |
| 開設期 | 後期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 配布資料 | | | |
| 担当教員 | 岡本 和也 | | | |

到達目標

1. ワンチップマイコンにより簡単な制御プログラムをC言語で組めることができる。

2. 与えられた仕様に基づいてマイクロコンピュータを制御できる。

本講義を学ぶことで、組込み機器の開発などの仕事に役立てることができる。

ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|--------|--|-----------------------|------------------------|
| 評価項目 1 | LEDのアナログ制御ができる | LEDの点灯/消灯の制御ができる | LEDの点灯/消灯の制御ができない |
| 評価項目 2 | シリアル通信によりセンサー状態やキーボード入力の値をシリアル通信を用いて送受信できる | マイコンとパソコンをシリアル通信ができる | マイコンとパソコンをシリアル通信ができない |
| 評価項目 3 | 液晶ディスプレイに文字・英数字等任意に表示できる | 液晶ディスプレイに文字・英数字等表示できる | 液晶ディスプレイに文字・英数字等表示できない |

学科の到達目標項目との関係

C-1

教育方法等

| | |
|-----------|--|
| 概要 | マイクロコンピュータは、電子レンジや電気炊飯器、全自動洗濯機など、さまざまな機器の制御用コンピュータとして使用されている。この授業では、マイクロコンピュータを搭載した教材を用いて演習により、マイクロコンピュータによる制御について学習する。この科目は企業で写真処理機のプリンター、プロセッサーの設計を担当していた教員が、その経験を活かし、電子回路の最新設計手法等について講義形式と演習を通じた授業を行うものである。 |
| 授業の進め方・方法 | 演習を中心としてサンプル問題を解説する。 |
| 注意点 | C言語を理解しておくこと。 |

授業の属性・履修上の区分

アクティブラーニング ICT 利用 遠隔授業対応 実務経験のある教員による授業

授業計画

| | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|------|-----|--------------------|--|
| 後期 | 1週 | ハードウェアの基礎知識 | マイコンボードの回路の理解ができる |
| | 2週 | マイコン・実習ボード・開発環境の解説 | 開発環境の使用方法、操作ができる |
| | 3週 | LEDの制御1 | LEDを個々に制御できる |
| | 4週 | LEDの制御2 | 7セグメントLEDを制御できる |
| | 5週 | LEDの制御3 | LED、7セグメントLEDを任意に制御できる |
| | 6週 | シリアル通信 | マイコンとパソコンをシリアル通信により通信できる |
| | 7週 | 課題演習 | これまで講義した内容について入出力制御ができる |
| | 8週 | 中間試験期間 | 中間試験期間 |
| 4thQ | 9週 | 液晶ディスプレイの制御及び演習 | 液晶ディスプレイに文字・英数字を表示できる |
| | 10週 | 課題演習 | これまで講義した内容について入出力制御ができる |
| | 11週 | 総合演習1 | これまで講義した内容について自らソフト仕様書を作成しプログラムを作成することができる |
| | 12週 | 総合演習2 | これまで講義した内容について自らソフト仕様書を作成しプログラムを作成することができる |
| | 13週 | 総合演習3 | これまで講義した内容について自らソフト仕様書を作成しプログラムを作成することができる |
| | 14週 | 総合演習4 | これまで講義した内容について自らソフト仕様書を作成しプログラムを作成することができる |
| | 15週 | 期末試験期間 | 期末試験期間 |
| | 16週 | 総合演習5 | これまで講義した内容について自らソフト仕様書を作成しプログラムを作成することができる |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|-------|----------|-------|---|-------|-----|
| 専門的能力 | 分野別の専門工学 | 情報系分野 | ハードウェア記述言語など標準的な手法を用いてハードウェアの設計、検証を行うことができる。 | 4 | 後2 |
| | | 計算機工学 | 要求仕様に従って、標準的なプログラマブルデバイスやマイコンを用いたシステムを構成することができる。 | 4 | 後10 |

評価割合

| | 演習課題 | 自宅学習課題 | 合計 |
|--------|------|--------|-----|
| 総合評価割合 | 50 | 50 | 100 |
| 配点 | 50 | 50 | 100 |